

組合要綱	
団体名	神奈川県家具協同組合
所在地	〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町7丁目155番地7 神奈川県ファニーチャーセンター
電話番号	045-242-5981 Fax 045-242-5984
設立年月日	昭和37(1962)年9月14日
役員等	理事長 横内 昭次郎 (株)横内製作所 代取会長
	副理事長 細貝 昭一 (株)アレックス 代取社長 副理事長 中村 章二 (資)中村家具製作所 代取社長
	副理事長 横内 真樹 (株)横内製作所 代取社長 副理事長 咲寿 義輝 (株)ダニエル 代取社長
	専務理事 小安 亮 (組合事務局長兼務)
	最高顧問理事 神谷 光信 神谷コーポレーション(株) 代取会長
	相談役理事 高橋 保一 (株)ダニエル 代取会長 相談役理事 田中 利隆 (株)ニッコー 代取社長
	理事 神谷忠重 (株)神谷コーポレーション湘南 代取社長 理事 秋山 利輝 (有)秋山木工 代取社長
	理事 中村友恵 (株)風間 代取会長 理事 岡崎 信幸 岡崎木工 代表
理事 野崎 義嗣 (株)マカロニデザイン 代取社長	
監事 加藤 秀樹 (有)東栄工芸 代取社長 監事 高橋 至 (株)松崎 代取社長	
組合員資格	(1)家具・木製品の製造・卸売・小売および家具木製品に関連した事業者であること。 (2)組合の地域内に事業場を有すること。
組合員数 出資金 正味資産	35社
	2,970,000円 (1口1,000円 2,970口)
	182,496,950円
事業内容	(1)技能検定事業(神奈川県職業能力開発協会補助事業として技能検定試験の受託事業。毎年多くの1級技能士・技能五輪代表を輩出) (2)共同施設事業(組合所有施設を組合員等へ低コストで賃貸) (3)共済保険事業(日本生命と提携し、組合員および従業員の福利厚生制度を補充支援する) (4)情報提供事業(神奈川県・中央会・産業振興センターなどと連携。組合ホームページを運営) (5)金融事業⇒ただし平成25年以降、休止 (6)PL賠償共済事業(中央会経由)
設立の経緯 および主要 事業の経過	昭和21年4月に、米国駐留軍用家具類の調達窓口として、駐留軍用家具納品検査協力を結成。 昭和23年4月に、進駐軍とその家族の需要に対し円滑に対応するため、神奈川県需品家具協同組合を設立。 昭和37年6月、一般民需家具の旺盛な需要に対応するため咲寿武道氏を発起人として神奈川県家具協同組合を25名で設立した。法人登記は9月14日。 昭和39年1月に、近代化促進法の指定業種となるため木製家具製造業者の全国組織設立に当たりその下部組織として神奈川県家具工業会を結成。 昭和40年8月その使命を終了した神奈川県需品家具協同組合を吸収し、事務所なども継承する。 昭和41年4月西区高島町に組合ビルを建設。 昭和45年4月海老名に高度化資金と商工中金の融資を受け、共同倉庫を開設し共同事業を展開した。 昭和45年5月に、近代化促進法の改正に伴い、構造改善事業を実施するため、工業会を改組し、商工組合法に基づく神奈川県家具工業組合を設立した。 昭和45年7月共済保険事業を開始。(東邦生命) 昭和46年4月金融事業を商工中金の転貸で実施開始。 昭和49年10月神奈川県家具工業組合は、全国に先駆け通産大臣承認第1号による知識集約化構造改善事業として、海老名市に「商品技術開発センター」の建設を中核とする計画を策定し実施した。 昭和57年神奈川県職業能力開発協会より技能検定受託事業を開始。 昭和63年3月神奈川県知事認定による「木材工芸技能訓練校」を開設。 昭和63年5月現在の中区伊勢佐木町に事務所移転。更に海老名の「商品技術センター」を工組から買い取る。 平成4年技能五輪(家具製作部門)に初参加。銅メダル獲得。 平成4年～8年に外国人受け入れ事業を行う。(5企業31名)、平成8年に中国遼寧省から感謝状。 平成9年11月技能検定の実施の功績により労働大臣表彰を工業組合が受ける。 平成11年6月共済事業の東邦生命が事業停止となるが、日本生命に切り替え、ことなきを得る。 平成12年7月第2代理事長に、神谷光信氏が就任。 平成12年から情報化対応に取り組み、平成14年に組合ホームページ稼働。 平成17年の技能五輪において、金メダルを初受賞。 平成21年若手組合員の交流の場として「かなもく塾」を結成。(令和3年11月に交流会が100回目となる) 平成29年～30年、海老名の共同利用建物の大規模修繕を実施する。 令和元年7月組合総会で、神奈川県家具協同組合と神奈川県家具工業組合の統合を決議。県庁の認可を得る。 令和元年12月までに、神奈川県家具工業組合の全組合員が神奈川県家具協同組合に出資し協組の組合員となる。 令和2年1月両組合統合祝賀パーティをホテルニューグランドで神奈川県知事等を招き開催する。 令和2年7月総会までに、統合により新組合員6名が加入。 令和3年5月決算期をもって工組は解散し、10月清算終了した。 令和3年度、技能検定を機に、いす張り業者3社が新規加入する。技能検定受験者数55名(過去最多) 令和5年5月1日、理事長は、神谷光信から横内昭次郎へ交代、副理事長は若手理事4人を登用する。
技能検定1級2級 技能五輪メダル	当組合が検定事業を受託した昭和57年以来、現在までに、1級167名、2級329名を当組合から輩出しています。 平成4年に初参加以来、現在までに、金メダル3個、銀メダル10個、銅メダル9個、敢闘賞16個を獲得しています。
最近の叙勲歴	平成25年春の叙勲にて、神谷光信氏が、旭日双光章を受章。 平成26年秋の叙勲にて、横内昭次郎氏が、旭日双光章を受章。 平成27年度県民功労者として、高橋保一氏が県知事表彰。
統合の背景	協同組合は、強固な資産がある反面、新規加入のハードルが高く組合員は減少していた。工業組合は、新規組合員が加入し役員の若返りの若返りが進行している。反面、収入は賦課金のみであり、財政的な制約があった。
統合の効果	神谷協組理事長と横内工組理事長のリーダーシップにより、財政的基盤が強固な神奈川県家具協同組合と、マンパワーが豊かな神奈川県家具工業組合が統合し、組織強化を図ることが令和元年7月の総会で決議されました。令和2年1月27日ホテルニューグランドで、黒岩県知事をご招待し、統合祝賀パーティを開催しました。なお、工組は、令和3年5月決算期で解散し、10月に清算終了しました。統合後、技能検定受験者は過去最高、新規会員も増加し、パワーアップしています。
かなもく塾	若手経営者の会(かなもく塾)が毎月活発に活動し、世代交代期にある当組合の受け皿になっている。